

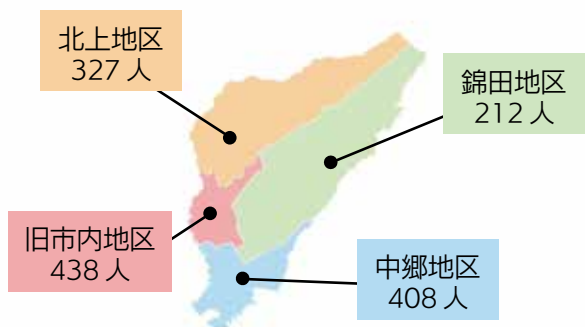


外国人市民と共に生きる

～誰もが笑顔で暮らせるように～

☎国際交流室 ☎ 983・2645

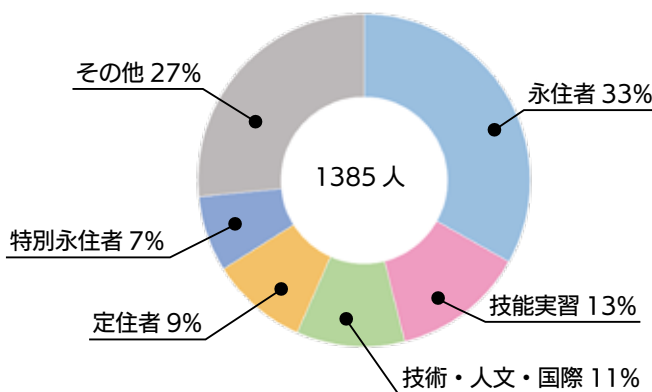
地区別外国人市民の分布



▲各地区に外国人市民の皆様が暮らしています

市内には、現在51万国、1385人の外国人市民が暮らしています（8月31日現在）。また、日本国籍であっても、父母・祖父母のいずれかが外国籍といった「外国にルーツを持つ人」も増えてきています。皆さまの周りにも多様な背景を持つ人がいるのではないのでしょうか。そこで今回は、外国人とのコミュニケーションの方法や、三島で活躍する外国人を紹介します。外国人市民の多くは、地域で暮らしながら日本の習慣に一つ一つ慣れていきます。お互いを理解し歩み寄り、みんなが笑顔になれる地域にしましょう。

外国人市民は、さまざまな在留資格のもと、それぞれ目的をもって居住しています。中でも、【永住者】日本に長く住むことを希望している外国人で、その人が永住することが日本にとって有益であると認められた人、【技能実習】技術や技能を勉強している人、【技術・人文・国際】自然科学や人文科学の分野にて専門技術や知識を持っている人で半数を占めています。



市内に住む外国人
在留資格トップ5

外国人市民にとって、生活に必要な情報を得るのはとても難しいことです。何を見れば良いか、どこに行けば良いか分からないという声があります。国際交流室では、生活に必要な情報をFacebookで発信しています。さらに、「みしまめっせんじャー」というボランティアの協力の下、つながりのある外国人に情報共有しています。

大事な情報を届けるために



▲動画で解説しています



▲国際交流室 Facebook ページ



▲国際交流室 Facebook



▲みしまめっせんじャー詳細

「やさしい日本語」とは、外国人にもわかるように配慮した簡単な日本語のことです。地域に住む外国人と話すときに、参考にしてみてください。



話すときのポイント

- ・簡単な単語を使う
- ・短い文にする
- ・カタカナ語はなるべく使わない
- ・絵や写真を見せる

自治会と外国人市民

自治会・町内会の取り組み

外国人市民が多く住む自治会・町内会では、市での生活に不慣れな外国人市民に、外国語でごみの分別の方法を案内するチラシを配るなど、歩み寄りの活動をしています。従来から用意している英語、中国語、ポルトガル語、スペイン語に加えて、三島市自治会連合会協力のもとベトナム語のごみの分別チラシを作成しました。

配布場所：廃棄物対策課、国際交流室



▲ベトナム語版ごみの分別チラシイメージ（一部）



▲ホームページからダウンロード

町内の人と楽しく交流しています



チルダース・ジュニア・ジョン・リーさん

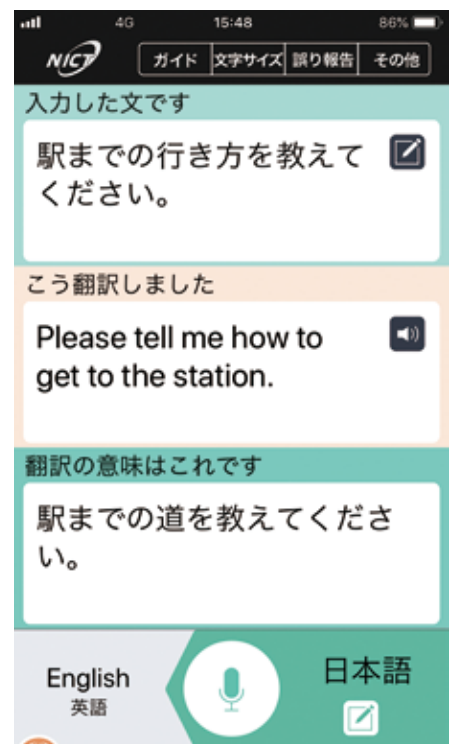
8年前に、アメリカから日本人の配偶者と来日。日本語が話せないことでちゅうちょしていた町内のイベントですが、1度思い切って参加したところ、町内の方々が親切に受け入れてくださいました。今では毎日笑顔で挨拶を交わすようになり、時には畑にお邪魔して、農作業と一緒にやらせていただくこともあります。

通常 の 日本語	集合時間	記入	雨天中止	注意	びんは資源 ごみなので、 今日は捨てられ ません
----------------	------	----	------	----	-----------------------------------

やさしい 日本語	集まる時間	書く	雨のときは、 やりません	気をつける	きょう、びんを捨 てることはでき ません
-------------	-------	----	-----------------	-------	----------------------------

困ったときに役立つ無料翻訳アプリ：VoiceTra

スマートフォンやタブレットにダウンロードすることで、31言語（英語、中国語、ベトナム語など）の翻訳が可能なアプリです。外国人市民との会話に、ぜひご活用ください。操作方法がわからない場合は、国際交流室で職員がお助けします。



▲アプリアイコン



▲ダウンロードはこちら

▲操作画面イメージ

提供：国立研究開発法人 情報通信研究機構 (NICT)